

A 概要

- 資料名称 : Ozawa Rowing Manual 4 (漕艇譜4/2016) 略称:「RM4」または「漕艇譜4」
- 概要 : 漕艇譜4は、小沢個人が発行する漕艇関連資料です。
- ご注意1 : 私家版であり、桑野造船、日本ボート協会等とは関係ありません。会社、協会等へのお問合せはご遠慮ください。
- ご注意2 : 一般の市販出版物ではなく、あくまで個人的な私家版の資料にすぎませんので、せっかくお申し込み頂いても、稀に当方の狭量&勝手な一存により、ご注文をお請けしない場合もあり得ますので、ご了承ください。
- 発行日 : 2016年6月14日 (※デジタル版のため、内容は、その後も随時更新しています。)
- 資料の形態 : クラウド OneDrive 上の電子データ。各項目(≒ページ毎)に独立したワード、エクセル等の生データのセットです。
- 利用方法 : 登録アドレスでアクセスし、ウェブ上での購読や、全データのダウンロード(=各自のPC上での利用)ができます。
- 価格 : ￥10,000/1ユーザ(1アドレス) ※本人だけが使用するアドレスであれば、自宅・会社など複数登録可能
- 登録期間 : 未定(想定約5年間以上=漕艇譜5発行まで)。その間、データは随時更新され、継続して購読、ダウンロード可能。
- 更新 : 漕艇譜4は、登録の後、随時更新される最新情報・訂正情報を継続的に購読・ダウンロード可能です。ただしご購入(代金)の対価は、ユーザー登録終了(DL可能)後の、初回のフルセット・ダウンロードの権利とお考えください。

B ユーザー条件(お申し込み資格)

- ・「E・利用条件」の趣旨を完全にご理解いただき、それを承諾し、確実に厳守いただける方。
- ・15歳以上の「個人」。(15歳未満の場合は、保護者の方が代行してください。)

C 購入手続き(概要説明)

ご購入(購読、ダウンロード)の手順(概要)は、以下(C1-C6)のとおりです。詳細は、D1~D6をご参照ください。

- C1 申込 : (ユーザー→小沢) 電子メールまたはFAXで申し込み。
- C2 承認・振込要請 : (小沢→ユーザー) 申込承認(=注文承り)・送金依頼
※上述「ご注意2」のとおり、お断りすることもありますのでご受忍下さい。
- C3 振込 : (ユーザー→小沢) 代金振込。(+振込んだことを小沢までご連絡ください。)
- C4 登録 : (小沢→ユーザー) メールアドレス登録(=開設。クラウドへのアクセスが可能になる。)
- C5 利用 : (ユーザー→システム) アクセスし利用開始(購読、ダウンロードなど)
- (C6 更新 : (小沢→システム) データの更新(随時)。OnDrive上の更新情報参照。重要更新はメールで通知)

※OneCloudでの初期ダウンロードがうまくいかない、不慣れ⇒C7 記録媒体(USBメモリ)等での提供も可能です。

※上記C1~C7の詳細を、以下のD1~D7に説明します。

D 購入手続き(詳細説明)

D1 申込(ユーザー→小沢): 電子メールまたはFAXで申し込み。

ご購入希望者は、以下の情報(D1a)を、小沢あて(D1b)に、お送りください。

D1a: お送りいただく情報

- ・申し込み文書 : 下記(※申し込み文)参照。
- ・氏名 : 漢字、(ふりがな)
- ・電子メールアドレス : [必須]インターネット接続したPCで利用可能であること。(後述※ご参照)
- ・所属と属性 : 所属・活動中の漕艇(またはスポーツ関連)団体と、その組織での役割を記述してください。
所属 : 複数の所属(※)がある場合は、列挙してください。
※基本的に、漕艇譜4を活用した資料を配信する可能性のある団体すべてを、記述してください。
属性 : 指導者、顧問、外部コーチ、マネージャー、選手、保護者等のいずれか(複数可)を記載してください。
- ・住所 : 居住地。(郵便番号を忘れずに) 艇庫等ではなく「居住地」です。
なお大学生等で、1~2年以内に転居がほぼ確実な場合は、[実家]等もできるだけ記述ねがいます。
- ・電話番号 : 携帯電話または自宅固定電話など。

※ 申込み文: E・利用条件の遵守に言及してお申し込みください。参考例:「漕艇譜4を申し込みます。なお利用にあたって、「E・利用条件」を完全に理解し、遵守することを、誓約します。」記述は、必ずしも左記のままではなく、申込者の任意の表明で構いません。

- ※ メールアドレスについて1: 現在のところ、漕艇部等の「団体代表のメールアドレス」では、申し込み・登録「できません」。不特定の複数の方の利用が想定され、(申込者の高いモラルにもかかわらず)ダウンロード・ファイルの流用・拡散の不安があるためです。
- ※ メールアドレスについて2: 携帯電話のアドレスでも登録～アクセスできますが、携帯電話(スマホ)では、速度・画面サイズ・表示可能なファイル数等の制限で、実用的でないと考えられます。
- ※ メールアドレスの変更は可能です(随時)。個人のアドレスであれば、複数(自宅、職場等)でも可能です。個別にご相談ください。

D1b : 申し込みの送り先 (原則として、電子メールでお願いします。)

・電子メール : ozwrow@ba2.so-net.ne.jp

※本案内では、ウェブサイト上での公開と転送配布を想定し、公開済みのメールアドレスを表示しております。なお、小沢の個人アドレス(非公開)をご存知の方は、そちらもご利用ください。(会社アドレスへの連絡は、ご遠慮ください。)

D2 承認・振込案内(小沢→ユーザー): 申込確認と振込先案内を返信

D2a 承認 : 承認の場合、本人あて、「申し込み承認と代金振込依頼」のメールを送信します。(ほぼ即日～1週間以内)

※ご注意:「申し込み承認と代金振込依頼」を受信するより前には「振込まない」ください。

D2b 非承認 : 上述「A ご注意2」の通り、せっかくお申し込み頂いても、非承認の場合もあります。その節はお許しください。

D3振込(ユーザー→小沢): 代金振込とその連絡

D3a 振込: (D2aの承認通知が届いたら) お送金をお願いします:

関西アーバン銀行 堅田(カタタ)支店 普通預金 2042224 オザワ テツシ (小澤哲史)

D3b: 連絡: 入金確認のため振込まれたことを、メールまたは電話等で、小沢までご連絡ください。

D3c: 領収書: 領収書は、基本的に発行しませんのでご了承ください。

※領収書が必要な場合、お手数ですが「返信用封筒」と「署名捺印のみで返送可能な領収書」をお送りくだされば、返送します。

D4登録(小沢→ユーザー): 登録とその連絡. クラウドへのアクセスが可能になる.

D4a : (登録作業) 小沢が、ユーザーのメールアドレスを、クラウドの共有者として登録します。(同時に、案内メールがユーザーに届きます)。

D4b : (利用) ユーザーは、そのメールの案内に従って、PCでクラウド(OneDrive)にアクセスし、閲覧やダウンロードができます。(注意: 編集権限はありませんので、クラウド上のファイルを直接加工することはできません。)

D4c: 補足 : すでに OneDrive をご利用の方は、「共有」の中にフォルダが追加されます。

D5利用(ユーザー →システム): アクセス可能になり利用開始(購読, ダウンロード可能)

D5a: 閲覧購読 : アクセスしたPCの画面上で、漕艇譜4を閲覧することができます。この場合、PCに、Word, Excel などのソフトが入っていないと、Word Online などが起動し、閲覧できます。(ただし、一部フォントや改行、文書レイアウトがオリジナルとは異なる場合もありますのでご了承ください。)

D5b: ダウンロード : 漕艇譜4をまるごと、任意のフォルダまたは個別のファイル単位で、ユーザーのPCにダウンロードできます。(総量は、約1.2GBです。接続回線によっては時間がかかるので、ブロードバンドでの接続が必要です。)

※フォルダごとのダウンロードでは、まとめて圧縮ファイル(フォルダ)としてダウンロードされます。その場合、そのフォルダを、任意の「解凍ソフト」などを利用して、ご自身のPC上で解凍(展開)した後、ご利用できるようになります。

D6更新(小沢→システム): データの更新(随時)

・作成中・作成計画中の項目は、随時追加・更新しています。予定にない項目も随時追加されます。

D7 記録媒体による提供

クラウドからのダウンロードが不慣れ、うまくいかないといった方のために、記録媒体(USBやDVD-R)での提供も可能です。基本は、返信用封筒とともにUSB(2GB以上)などをお送りいただき、コピーして返送いたします(無料)。

または、媒体(USB, DVD-RまたはCD-R)を指定していただいで、それを作成・郵送いたします。(この場合は、いずれのメディアでも、¥1,000/1回あたりをお願いいたします)。※個別の事情に応じますので遠慮なくご相談ください。

E 利用条件(許可事項, 制限事項, 禁止事項と違反時の対処) ※重要

E1 許可事項 以下の行為を許可します;

E1a ユーザー自身の個人的な購読, データの保管(通常利用形態)

- ユーザーが, 個人で所有・使用する複数のPCやタブレットを用いて, クラウド OneDrive 上の漕艇譜4にアクセスし, そのPC上で購読すること。
- ユーザーが, 個人で所有・使用する複数のPCやタブレットに, クラウド OneDrive 上の漕艇譜4を, 複数セット, ダウンロードすること。また, DVD-R, USBメモリ, 外付けHDD等に保存すること。

(注: そのデータを他者に, そのまま(=電子データの形態で) 供与することは, E3禁止行為となりますのでご注意ください。)

- ユーザーが, 個人で所有するPCやタブレット上に呼び出した漕艇譜4を, 他者に見せてディスプレイやプロジェクタなどで説明に利用すること。

E1b 加工編集しない形での印刷配布 (オリジナル印刷配布)

- ユーザーが, 漕艇譜4の一部(1項目, または1ページ単位の抜粋)または全部を, 「加工することなく」印刷出力し, その所属する団体, クルー等に配布すること。

E1c 加工編集をする形での間接利用 (加工印刷利用)

- ユーザーが, 漕艇譜4の一部を加工・加工・編集し, 配布を目的とした資料を作成する場合は, 「必ず」作成者(ユーザー自身の所属・氏名), 作成日, 参考文献: 漕艇譜4(また Ozawa Rowing RM4 等)を明記すること。

※重要: 特に1ページをほぼ丸ごと参考にするような場合でも, その一部を加工(誤字訂正, 下線・傍点の追加, 着色, 削除, 加筆, 表現の変更等, すべての変更を含む)した場合は, 必ず, フッタ内の「Ozawa Rowing RM4」のラベルに, 「より加工」など, 加工したことを明記すること。加工されたものを小沢オリジナルと誤認されるのを回避するためです。

※ 現時点では, 漕艇譜4・電子版は, 個人購入に限定した利用条件とさせていただきます, 漕艇部, ボート協会等での共用を想定していませんので, ご了承ください。 2016. 12. 20

※ 漕艇譜4では一部, インターネット等からの画像を利用しています。できる限り出典明記に努めていますが, 転用時の著作権保護等, 出典記載に留意いただくとともに, 自己責任とし, 転用に起因する責任は各位が負われるよう, お願いします。

E2 禁止事項(重要) 以下の行為を禁止します;

E2a 電子データの流出, ユーザー以外のアクセス, ダウンロード

- 漕艇譜4の電子データの一部または全てを, 「電子データのまま」, ユーザー以外の第三者に貸与, 提供, 譲渡, 販売すること。
- 登録メールアドレスを, 漕艇部・協会等の共用のPC等に提供し, 自由にアクセスできるようにすること。
- ユーザーが個人のPC等にダウンロードした漕艇譜4を, 別のクラウド, サーバー, PC等に複製(移植)し, 事実上, ユーザー以外の者が漕艇譜4を利用可能な状態にすること。

E2b 加工データのオリジナル(ozawa rowing)表示の, 誤解を生む形での残存

- 加工編集したファイルを, Ozawa Rowing のオリジナルと誤認されるような表記状態で供給することは「厳禁」です。例: 具体的には, フッタにある[Ozawa Rowing RM4]の記述をそのままに, 加工したものを(いかなる形態でも)配布すること。(小沢が意図しないデータを, 他者に「小沢が作成したものだ」と誤認されることを避けるためです。)

E3 禁止事項等に違反した場合の対処(重要)

- E2に抵触する違反行為が確認, またはその疑義が生じた場合, また, お互いの友好関係・信頼関係等が損なわれたと判断した場合は, 通知の後, 当該登録アカウントを削除させていただきます。

※その場合も, 「A・改訂」の項に記述の通り, 代金の対価はすでに取得されているものとみなし, 代金は返金しませんので, ご了承ください。

- また, 関連する所属団体における他のユーザーについても, 類似の違反行為がなかったか問合せし, 場合によっては当該団体の関連ユーザーも, 通告の上, 連座的に停止または削除させていただく場合もありますのでご注意ください。

F クラウド(サーバー)およびデータ形式等の詳細等

- ・ データは, クラウドサーバ(OneDrive)のフォルダ(Ozawa-RowingManual4)に保存されています。
- ・ データ形式は, 基本的にMSWord, MSEXcelで, 一部はPDFの場合があります。
- ・ データは, 漕艇譜4のデータは, 1項目(≒大半は1ページ)＝1データです。一括ダウンロード可能。ただし, 例えば漕艇用語一覧のように, 1ファイルが多数の複数ページからなることもあります。
- ・ 構成: 収録した項目の詳細は, ウェブサイトのINDEXをご参照ください(随時更新。 ※2016. 12現在 index 更新は遅れています)
<http://ozawa-rowing.com/07-rowingmanual2016/a00-002-rm4index.pdf>
- ・ クラウドサービスの利用環境の変更等に伴い, Microsoft・OneDrive から, 他のクラウドサービスに移行する可能性もあります。

以下は、補足情報であり、必読項目ではありません。興味のある方は参考までにお読みください。

G 補足1: 漕艇譜4への経緯

—削除しました—

H 補足2: 漕艇譜4と既刊(漕艇譜・初版～Ⅲ)との比較

H1 データサイズ

	総データサイズ	／ファイル数	／フォルダ数	厚さ
漕艇譜Ⅰ(RM2003)	112MB	／436	／34	約15mm
漕艇譜Ⅱ(RM2005)	362MB	／623	／37	約23mm
漕艇譜Ⅲ(RM2009)	952MB	／891	／38	約40mm
漕艇譜4(RM4/2016)	1.15GB	／1280	／209	(約50mm)／推定概算

H2 構成

- ・既刊(漕艇譜Ⅰ～Ⅲ)は、全体を、レベル1とレベル2の「2編」で構成していました。
- ・漕艇譜4は、A, B, C, Dの4編に再編しました。各編の内容は、公開INDEXをご参照ください。
- ・4編のデータ量の比率は、大雑把に、A:B:C:D ≒ 5:3:2:1 です。
- ・追加更新予定項目(Indexに★、▲印のある項目)が若干残っています、ご了承ください。

J 補足3: 供給形式の検討経緯

—一部削除しました—

- 違法コピーは人の努力を踏みにじる行為です！ 決してE項目に違反されないよう、お願いいたします。**

K 補足4: 供給電子ファイル書式(Word, Excel ナマデータ)について

- ユーザー(例えば指導者)が、自分の指導資料を作成するベースとして編集する場合の利便性を考えて、生データとしています。
- Word, Excel のバージョンは、大半が以前の.doc や.xls ですが、更新とともに、順次 docx, .xlsx 版に変更しています。

L 補足5: 桑野造船、ボート協会等との関係について(重要)

- 漕艇譜4は、小沢「個人」の漕艇活動の一環であり、主に現場のコーチの立場からまとめたものです。漕艇譜4に関してのお問合せは、小沢個人にご連絡ください。
- 桑野造船(および社長)や日本ボート協会、その他ボート関係機関・個人の業務・責任・権限とは関係ないことを、ご理解ください。
- 例: 漕艇譜4でも修理方法の記述がありますが、それはユーザーの自家修理レベルのものであり、「前提として」桑野の業務修理との共通性・整合性は調整していないとお考え下さい。
- ※ 桑野の修理は、構造修理と共に、特に業務修理として、「仕上がり品質」に多くの労力をかけさせていただいております。
- 修理に関しては、ユーザーレベルの修理では安全上問題のあるケースもあり、安易に修理方法を照会することが、クルーの安全性を損なうリスクのあることだと認識しました。その予防のため、修理関係の記述を大幅に割愛することも検討しました。しかし、既刊の漕艇譜との関係も含め、掲載を継続しています。ただし常に、修理は自己責任であるだけでなく、特にクルーが修理艇を使う際に、その安全責任は、修理実施者に大きくかかっていることを十分に認識されてください。
- 同様に、その他ロウイング、コーチング全般にわたり、漕艇譜4の利用に当たっては、あくまで自己責任であることを、十分に認識されてください。

小沢哲史 2016. 12. 20

※ 漕艇譜4と平行して設置していた、サンプルフォルダ(フリー)は、廃止いたしましたのでご了承ください。

※ 漕艇譜4の購入をお考えで、サンプルページをご希望の場合は、D1a1に準じた情報をご提供いただければ、ご希望のページ(Word × 1, Excel × 1ファイル)計2ファイルを、無料で提供いたします。ただしその場合も、そのファイルの扱いについては、E項(利用条件)の遵守が伴うことをご理解ください。